

子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ

2019年

子どもゆめ基金 ガイド

子どもの
体験活動・読書活動への
助成を行っています。

採択情報満載!!

こんな使い方がある!!
助成活動事例を紹介

How To
子どもゆめ基金
申請までの流れ



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

「子どもゆめ基金」について	1
「子どもゆめ基金」の概要	2
子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ	
ー申請までの流れー	4
子どもゆめ基金ガイドの活用方法	
ー申請のワンポイントアドバイスー	5
子どもゆめ基金助成活動情報サイトのご紹介	6
平成30年度助成活動事例	
○子供の体験活動	
【自然体験】	
あいら子供の家2018年夏キャンプ	
実施団体／特定非営利活動法人 あいら子供の家	8
2018年 発達障がい児 改善親子サマーキャンプ	
実施団体／特定非営利活動法人 子どもと女性の身体と心を育てる心和 ...	10
【科学体験】	
松代の観光案内をプログラミングしてみよう	
実施団体／特定非営利活動法人 IT サポート銀のかささぎ ...	12
【交流体験】	
忍者電車まつり！ 冬の陣	
実施団体／特定非営利活動法人 岐阜県青年のつどい協議会 ...	14
僕らのまちのハロウィンパーティ2018	
実施団体／特定非営利活動法人 子育て応援 NPO フレンズ ...	16
【社会奉仕】	
eco スクール in ASO	
実施団体／阿蘇市地域婦人会	18
【職場体験】	
地産地消！ 実際の生産から販売まで！ 職業体験から自分の未来を考える	
実施団体／特定非営利活動法人 ジーネット	20
【その他の体験】	
みんなでつくるインクルーシブ大運動会（みんなで大運動会）	
実施団体／特定非営利活動法人 沖縄県自立生活センター・イルカ ...	22
○子供の読書活動	
【読書活動】	
神奈川県子ども会読み聞かせキャラバン	
実施団体／一般社団法人 神奈川県子ども会連合会	24
子ども向け教材開発・普及活動への申請をお考えの方へ ...	26
平成30年度 普及啓発事業の事例	
日中韓子ども童話交流事業	28
「体験の風をおこそう」運動とは	30
申請・採択状況	32
子どもゆめ基金へのご協力を	
「子どもゆめ基金」へご寄附いただいた皆様 ...	裏表紙



「子どもゆめ基金」について

「子どもゆめ基金」は、衆議院・参議院の超党派の国会議員により構成される「子どもの未来を考える議員連盟」が子供の未来のために有意義な基金の創設を発意し、平成13年4月に創設されたものです。

かつての子供たちは、自然の中や地域において様々な自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会に恵まれていました。しかしながら、今の子供たちをめぐる環境は、心や体を鍛えるための負担がかからない「無重力状態」であるとともに、保護者の経済力や保護者自身の経験の多寡、学校の判断によって、体験活動の機会に「体験格差」が生じているとの指摘もあります。（平成25年度中教審答申より）

体験活動に関する調査（国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」）では、

「子供の頃の体験活動が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い」、「体験を多く行っている青少年ほど、他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣が身につけており、自己肯定感も高い傾向にある」など、子供の頃の体験は、その後の人生に影響することが示唆される結果が出ています。

体験活動・読書活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢をもった子供の健全育成を推進するため、地域の草の根団体等が実施する様々な体験活動や、特色ある新たな取り組み、体験活動・読書活動の振興を図る取り組みの裾野を広げる様な活動を中心に、支援を行っています。

民間からの寄附

独立行政法人
国立青少年教育振興機構

子どもゆめ基金

助成



子供の体験活動を支援

助成



子供の読書活動を支援



「子どもゆめ基金」の概要



●助成金の交付

●助成の対象となる活動

子供を対象とする体験活動や読書活動

子供の体験活動

- ・キャンプや自然観察などの自然体験活動
- ・科学実験教室などの科学体験活動
- ・異年齢や異世代、地域間等の交流を目的とした活動
- ・清掃活動等の社会奉仕体験活動
- ・地域の商店街・農業・漁業等の職場体験活動

子供の読書活動

- ・読み聞かせ会、読書会活動

子供を対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

- ・フォーラムの開催、指導者養成

子供向け教材開発・普及活動

- ・インターネット等で使用可能なデジタル教材を開発し普及する活動

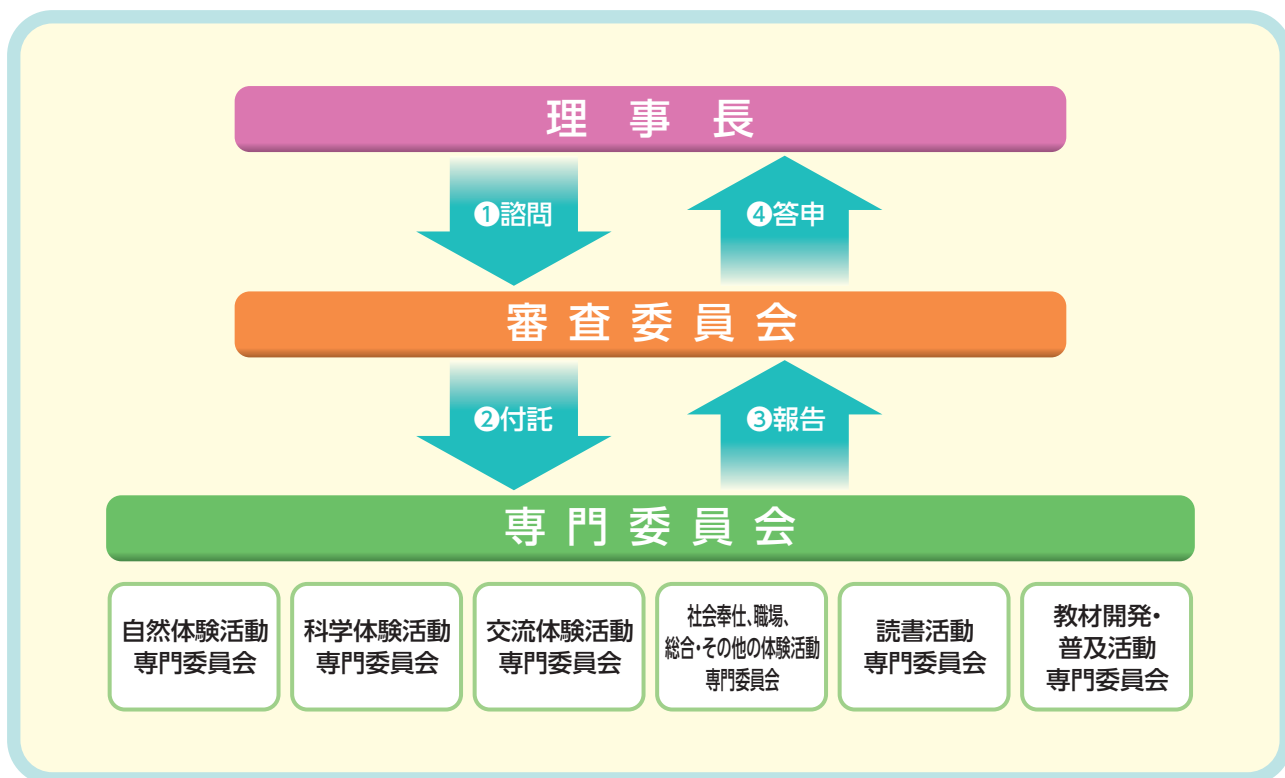
●助成の対象となる団体

青少年教育に関する団体（公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人、特定非営利活動法人、法人格を有しないが青少年のために活動する団体）

●助成金の額と審査方法

子どもゆめ基金では、体験活動等の分野において実務経験を持ち、青少年教育に高い識見を有する委員で構成する「子どもゆめ基金審査委員会」を設置し、審査を行います。

その審査にあたっては、各団体から提出された申請書を専門的見地から合議により評価し、採択する活動及び助成金額を決定します。



●経済的に困難な状況にある子供の体験活動や読書活動への助成

●背景

我が国の子供の相対的貧困率は、年々上昇しており、世代を超えた「貧困の連鎖」が指摘されるなど、子供の貧困は喫緊の課題であるとして、平成26年8月に「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定され、国において総合的な取組が推進されることとなりました。このような国の動向を踏まえ、子どもゆめ基金では経済的に困難な状況にある子供たちを対象に以下の取組を始めました。

●取組の概要

民間団体が、経済的に困難な状況にある子供を対象とした体験活動や読書活動を行う場合、通常は助成対象外とされている参加者の交通費・宿泊費などの自己負担経費について、特に助成の対象とすることで、参加する子供の負担が軽減されるようにしました。その結果、令和元年度子どもゆめ基金助成活動には、188件の申請があり、このうち貧困対策に適合した申請を138件採択しました。

●助成の対象となる活動

この助成の対象となる活動は、以下1、2のとおりです。

1. 民間の児童養護施設や母子生活支援施設及び一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会並びにこれに加盟する母子福祉団体が行う体験活動や読書活動
2. 上記1. 以外の民間の機関・団体が、経済的に困難な状況にある子供の健やかな育成を目的として、児童養護施設や母子生活支援施設、地方公共団体などと協力して行う体験活動や読書活動

詳しくは、子どもゆめ基金募集案内をご覧ください。子どもゆめ基金部助成課までお問い合わせください。

●普及啓発

子どもゆめ基金では、子供の体験活動や読書活動の振興を図るための普及啓発を行っています。
(子どもゆめ基金ガイドの作成、普及啓発事業の実施等)



子どもゆめ基金の申請をお考えの方へ ー申請までの流れー

初めての団体、小さな団体のみなさまも、ご応募お待ちしております。

企画立案はどうすれば…

「どんな活動があるのかな？」

→子どもゆめ基金ガイドを読んで、これから企画する活動の参考にしてみましょう。

◎過去の子どもゆめ基金ガイドもホームページからご覧になれます。

URL : <https://yumekikin.niye.go.jp/download/index.html>

実際に申請してみたい…

「子どもゆめ基金のことがもっと知りたい！」

→子どもゆめ基金募集説明会に参加してみませんか？

◎毎年9～11月にかけて全国40都市以上で実施しています。会場では、申請のガイダンスや個別質問回答コーナーを設けています。

子どもゆめ基金部主催説明会

2019年9月27日（金） オリンピックセンター （東京都渋谷区） 13：30～

2019年10月10日（木） 富山県教育文化会館 （富山県富山市） 13：30～

2019年10月18日（金） 天満研修センター （大阪府大阪市） 13：30～

その他の会場や会場の詳細はホームページの注目情報からご確認いただけます。

URL : <https://yumekikin.niye.go.jp/>

◎さらに、申請にあたってわからないことや相談したいことがあれば、子どもゆめ基金までご連絡ください。（メールでのお問い合わせ：yume@niye.go.jp、電話でのお問い合わせ：0120-57-9081月～金 AM9：00～PM5：45）

募集期間は？

「子どもゆめ基金の募集期間」

一次募集期間 郵送 2019年10月1日（火）～11月12日（火） 消印有効

電子申請 2019年10月1日（火）～11月26日（火） 17：00締切

二次募集期間 郵送 2020年5月1日（金）～6月16日（火） 消印有効

電子申請 2020年5月1日（金）～6月30日（火） 17：00締切

◎二次募集は市区町村規模・申請額50万円以下（様式B）のみとなります。

◎直接持参する場合は、平日（土日祝除く）9：00～17：45まで受け付けます。

◎初めて電子申請される場合は、申請の前にID申請が必要となります。

募集案内や申請書は、子どもゆめ基金ホームページからダウンロードできます。従来の郵送による申請に加え、電子申請システムを利用した申請も可能です。一度電子申請で手続をとると、実績報告書の作成や次回以降の申請も簡単にできます。



教材開発・普及活動に申請をお考えの方は、26ページへ。

子どもゆめ基金助成活動情報サイトのご紹介

『子どもゆめ基金助成活動情報サイト』
<https://pr.yume.niye.go.jp>

こんな方にオススメ！

- 子どもゆめ基金助成活動情報サイトでは、北海道から沖縄まで当該年度に採択された助成活動がすべて掲載されています。その数約 5,000 件。
※助成団体からチラシが提出され承認されたら、掲載になります。
- 全国各地の多種多様なジャンルの体験活動や読書活動、フォーラム、指導者養成活動を見つけることができます。
- 次の方々にオススメです。
 - ・ 子供に様々な体験活動をさせたい方
 - ・ 助成金申請を検討している方
 - ・ 他の助成団体の活動を見てみたい方
 - ・ 自分自身の興味・関心を深めたいという方
- 参加費のかからない活動も多数あります。
- 子どもゆめ基金助成活動の中から、普段の生活の中ではなかなか味わうことのできない感動や、一生心に残る体験をしてみたいはいかがでしょうか。

ポイントは？

- キャンプなどの自然体験活動、実験教室やものづくり・プログラミングのワークショップなどの科学体験活動、異年齢・異世代・地域間等の交流活動、おはなし会やストーリーテリングなどの読書活動、その他さまざまな遊びや体験から、好きな活動を選ぶことができます。
- スマートフォン、タブレットからも利用可能です。
- 活動の分野・種類など、さまざまな検索方法で、やってみたい体験を簡単に探すことができます。

検索方法は？

子どもゆめ基金
National Institution for Youth Education
助成活動情報サイト

さがして！ 体験しよう！

子どもゆめ基金は 様々な体験活動を助成しています。
すぐに参加可能な活動を多数掲載しています。
[興味のある方は各活動の問い合わせ先へ！](#)

Q 条件やキーワードでさがす

開催地域を選択 1

開催日 年/月/日 2 ~ 年/月/日

活動の分野 *すべて ◎自然体験活動 ◎科学体験活動 ◎文芸を目的とする活動 ◎社会奉仕体験活動 ◎環境体験活動 ◎総合・その他の体験活動 ◎読書活動 3

活動の種類 *すべて ◎子どもを対象とする活動 ◎フォーラム等普及活動 ◎指導者養成 ◎経済的に困難な状況にある子どもを対象とする活動

募集対象 ☐未就学児 ☐小学生 ☐中学生 ☐高校生 ☐大学生等 ☐一般成人 ☐保護者 ☐その他 4

参加費 *すべて ◎無料 ◎有料 5

検索キーワード

並び順 ☐開催場所 *開催日 ◎参加費 *賛成 ◎賛否

リセット 検索

①開催地域

ブロック、都道府県から選ぶことができます。

②開催日

クリックするとカレンダーが表示されますので、開催日を指定することができます。

③活動の分野・種類

助成の対象となる活動の分野・種類から選ぶことができます。

④募集対象

活動への参加対象を選ぶことができます。(複数選択可)

⑤参加費

無料・有料から選ぶことができます。

気になる項目にチェックを入れていただき、『検索』ボタンを押すと、検索結果が表示されます。

あいら子供の家2018年夏キャンプ 実施団体／特定非営利活動法人 あいら子供の家

- 活動期間／7月28日（土）～7月29日（日） 宿泊2回 1泊2日
- 活動場所／鹿屋体育大学海洋スポーツセンター、大隅青少年自然の家
- 募集地域／鹿児島県
- 募集対象／小学生（1～6年生）、中学生
- 募集方法／その他（過去の参加者の紹介）
- 構成員数／18人
- 連絡先／理事 末重育代 caesar.i@jk9.so-net.ne.jp



皆でしっかり安全確認



徐々に体を慣らします



うわー浮かんた！

●活動のねらいとポイント

自然の偉大さや自然に触れることの楽しさを体験することで、いのちの大切さ、自然への感謝を体験させたいです。

具体的なプログラム名	主なポイント
キャンプファイヤー	仲間で火を囲み、歌やレクリエーションを行うことによって、他者との関わりの面白さ、触れ合いの大切さを実感する。また、ふりかえりを行うことによって、自分を見つめ直す機会とする。
海のプログラム	カヌー、ヨット、シュノーケリングを体験することにより、海の活動の楽しさ、厳しさを体験する。そして、海の生き物を観察し、「生命」の繋がりを学習するとともに、浜辺のごみ拾いを通して自然保護の大切さを学ぶ。
野外炊飯	火のおこし方、刃物の使い方、調理の仕方を学ぶことによって、生きる力を育む。また、仲間と協力することによって、協調性を育む。食事の際には、「いのち」をいただいていることに感謝する気持ちを育む。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】スタッフトレーニングを実施し、リスクの把握、対策方法について共有する。海での行動時には、子供一人に対し大人一人が付く体制を整える。また、全員保険に加入する。
- 【健康管理】各自保険証を所持し、常用の薬のある場合は必ず事前に施設職員と確認する。常に救急箱を携行し、急なケガ等に備え、利用施設周辺の医療機関を事前に確認する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
7/28	8:00	あいら子供の家集合
	10:00	鹿屋体育大学海洋スポーツセンター着
	10:30	海のプログラム 1
	12:00	昼食（海洋スポーツセンターにてお弁当）
	13:00	海のプログラム 2、スイカ割り
	15:30	大隅青少年自然の家着、テント設営、野外炊飯準備
	18:00	野外炊飯（焼肉）
	19:30	キャンプファイヤー
7/29	6:30	起床
	7:00	朝の集い：国旗掲揚の担当
	7:30	朝食
	9:00	ドッジボール、フリスビー
	12:00	昼食・野外炊飯 昼食準備（カレー）
	13:00	まとめ 室内清掃
	15:45	あいら子供の家着

●活動の成果と課題

日常では体験できない貴重な海洋スポーツを体験することができました。広い海で「思いっきり遊ぶ」という体験は、子供たちの心を開放し、自然の雄大さや、そして仲間との信頼関係の大切さを体験できたと思います。野外炊飯やキャンプファイヤーは、準備から後片付けまで協力しながらやり遂げることができ、自主性や協調性の大切さを実感できたと思います。施設の職員の方からも、普段は見ることもない子供たちの生き生きとした表情を垣間見ることができ、貴重な体験になったという意見が聞かれました。

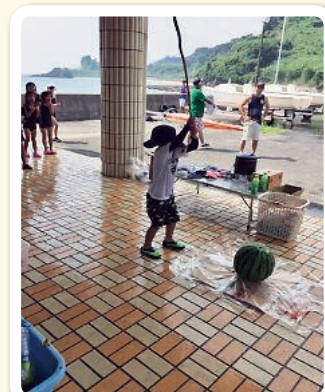
課題は、若手の指導者の育成と、今後施設以外の子供たちも参加できるような新しい企画を立案し、少しでも多くの子供たちに「生きがいと楽しさ」を共有してもらうことです。



海でのカヌー体験



皆で後片付け



スイカ割り大会「そこだー！」



皆で野外炊飯の準備中



「火の神」とキャンプファイヤー

●団体概要

【設立年月】 2000年11月

【設立の経緯】 保護者のいない子供、または何らかの事情で親と同居できない子供たちに、居場所の一つとなり、子供たちの健全な育成に寄与することを目的に設立しました。

【目的】 施設を訪問したり、子供たちの小学校、中学校、高校の卒業時のお祝いを家庭料理でもてなしたり、これまで関わったボランティアの方々との交流などです。

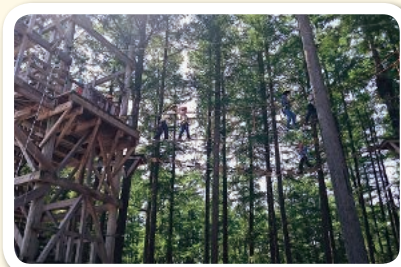
【構成】 理事（4名）・監査（1名） 70代：2名、60代：2名、50代：1名 計5名（男：2名 女：3名）

2018年 発達障がい児 改善親子サマーキャンプ 実施団体／特定非営利活動法人 子どもと女性の身体と心を育てる心和

- 活動期間／8月3日（金）～8月6日（月） 宿泊3回 3泊4日
- 活動場所／長野県白馬村
- 募集地域／東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木、宮城、福島、新潟、富山、石川、静岡、愛知、岐阜、大阪
- 募集対象／未就学児（1～5歳）、小学生（1～6年生）、中学生、高校生、保護者
- 募集方法／・チラシ（配布先：公益社団法人日本駆け込み寺、白馬五竜観光協会、（一社）白馬スポーツ・振興協会、（一社）臨床ニューロフィードバック協会、（一社）再チャレンジ支援機構、NPO 法人くらし応援ネットワーク、よろず相談研究所）・ポスター（掲示先：公益社団法人日本駆け込み寺、（一社）白馬スポーツ・振興協会、（一社）再チャレンジ支援機構、NPO 法人くらし応援ネットワーク）・その他（当協会HP、フェイスブック）
- 構成員数／6人
- 連絡先／asai@npococorowa.org



乗馬体験



ツリーアスレチック



無農薬野菜収穫体験

●活動のねらいとポイント

発達障害の子供と家族を対象に、自然体験、子供の体質改善、能力開発症状改善を期待することを目的とします。

具体的なプログラム名	主なポイント
ツリーアスレチック (EX アドベンチャー)	自然の木の上に足場を作り、その木と木を結ぶように設置されたロープや吊り橋等のエレメントを安全ハーネスを付けて移動する。全身の神経と運動機能を使うことで、感覚統合、平衡感覚の改善を促す目的で行うもの。参加者全員で励ましながら攻略することで、協調性を体感できる効果が期待できる。
川遊び	膝下程度の浅い川で、冬に降った雪が山から水になって流れてくる中、魚のつかみ取りを行う。自分でつかんだ魚をバーベキューにさせていただくことで、命の大切さも学ぶ。山、川、魚といった自然条件をその場で感じ、自然について学ぶことを目的とする。水に触れることで皮膚感覚の刺激による症状改善効果も期待できる。
岩岳寝ずこの森 トレッキング	山岳ガイドのスタッフを先頭に森をトレッキングする。新鮮な空気を思いっきり吸い、風を感じ、鳥のさえずりを聞き、五感をフルに刺激することで、身体感覚を鍛えることを目的とする。また、日常ではない自然を体感する。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】参加家族には、あらかじめ子供の発達状態のアンケートを取り、スタッフ全員で情報共有することとする（個人情報においては、十分に取扱いに注意する）。集合において、参加保護者へ移動中は子供の手を離さないように注意を行う。開催地への事前下見により、危険箇所を把握し、現地スタッフと共有し安全管理を行う。この旅行は、各家庭において異なるアレルギー原因物質を持っていることに配慮するため、個別に持ち込む「おやつ」等については、他のご家庭の子供が口にしないよう配慮することを事前に通知し、安全対策を行っている。
- 【健康管理】ツアー中は、7品目（乳、小麦、卵、そば、落花生、エビ、カニ）完全除去アレルギー対応食と添加物除去食の実施、各指導者が常に健康チェックを行う。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
8/3	9:00	東京駅集合
	9:32	はくたか57号乗車
	11:00	長野着 マイクロバスで白馬へ移動
	12:00	昼食 現地集合ご家族と合流 始めの会
	14:00	乗馬体験
	17:00	入浴
	18:00	夕食
	20:00	保護者勉強会
	21:00	児童消灯
8/4	7:00	起床 朝の散歩
	8:30	朝食
	9:30	ツリーアスレチック (EX アドベンチャー)
	12:00	昼食
	13:30	木崎湖水遊び
	17:00	入浴
	18:00	夕食
	19:00	自然体験星空観測
	20:00	保護者勉強会
	21:00	児童消灯
8/5	7:00	起床 朝の散歩
	8:30	朝食
	10:00	ニジマスつかみ
	12:00	昼食
	13:30	岩岳寝ずこの森 トレッキング
	18:00	夕食 BBQ
	19:00	自然体験星空観測・花火
	20:00	保護者勉強会
	21:00	児童消灯

月/日	時間帯	プログラム内容
8/6	7:00	起床 朝の散歩
	8:30	朝食
	9:30	無農薬野菜収穫
	12:00	昼食
	13:00	お別れの会 現地解散のご家族と別れ、白馬から長野へマイクロバスで移動
	15:40	あさま624乗車
	17:20	東京着 解散

●活動の成果と課題

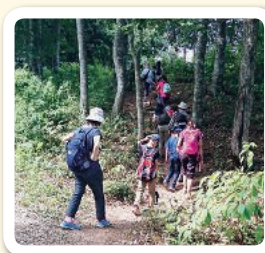
夏の自然体験活動を通して、発達障がい特有の感覚過敏、体幹基礎トレーニングを基本的に親と分離させ、終日スタッフの指導のもと活動を行いました。

地上8mに設置されたツリーアスレチック (EX アドベンチャー) も、スタッフの指導で子供全員が最後までやり遂げることができました。食物過敏に対応した7品目完全除去食もあり、4日間という短い期間でしたが、改善目的の活動として達成したと考えています。ツアー参加後には、自転車に乗れるようになった、積極的に行動できるようになった、との嬉しい連絡がありました。

課題は参加者の募集です。7組から10組という少人数での募集のため参加をお断りしなければならないこともあります。また、実行ギリギリでの参加ということも過去にはあり、参加者の募集については今後更なる検討が必要であると考えています。



にじまつかみ取り



トレッキング



7品目完全除去食

●団体概要

【設立年月】 平成27年9月1日

【URL】 <https://npococorowa.org/>

【設立の経緯】 理事長の浅井夕佳里が、発達障がい児の改善指導に2010年から携わってきました。しかし、障がい児だけではなく、全ての子供たちの健やかな成長と能力(知能)アップが重要であること、そして子供たちを産み育てる女性のサポートも必要と考え、子供と女性の身体と心をサポートすることを目的として設立しました。

平成27年9月に東京都より認証を受け、特定非営利活動法人を設立しました。

【目的】 障害がある無しに関わらず、子供の知能開発・能力開発トレーニングの実施。
保護者への情報提供・トレーニング・カウンセリング・セミナー・ワークショップの実施。
法人設立前平成26年より、発達障がい児改善親子ツアーを行っています。

【構成】 男性：3人 女性：3人
60代2名、50代2名、40代1名、30代1名
専任1名、会社経営者1名、山岳ガイド1名、農業従事者1名、建設会社社員1名、フリー編集ライター1名
その他ツアー時には、各開催地域の学生のボランティアを募集し実行しています。

松代の観光案内をプログラミングしてみよう

実施団体／特定非営利活動法人 IT サポート銀のかささぎ

- 活動期間／5月20日（日）～11月23日（金） 日帰り4回
- 活動場所／長野市 松代まち歩きセンター
- 募集地域／長野市、千曲市、須坂市
- 募集対象／小学生（1～6年生）、中学生、高校生、一般成人
- 募集方法／・チラシ（配布先：長野市近隣小中高、児童養護施設） ・広報誌（長野市民新聞、週刊長野）
・その他（ホームページ、SBC ラジオ）
- 構成員数／3人
- 連絡先／info@i-kasasagi.org



講義



ロボブロックでプログラミング



ディスカッション



質問タイム

●活動のねらいとポイント

年間を通じて行うことにより、子供たちが郷土への愛着を持ち、科学への興味関心を深めることを目的としています。

具体的なプログラム名	主なポイント
プログラミング教室	プログラミングの基礎知識を学び、プログラミングソフト「ロボブロック」の使い方を実習する。
地元のまち歩き教室	郷土の歴史のお話を聞いて、実際にまち歩きをしてみる。
観光案内プログラミング	まち歩きでまとめた観光案内を各々がプログラミングして、ディスカッションを行ったうえで、観光案内を完成させ発表する。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】小学生は親子同伴が送り迎えをしていただく。まち歩きの際は、交通事故に気を付け、5人に1人スタッフがつかうようにする。
- 【健康管理】パソコンの入力が多いので、目のために1時間の学習に対して10分ずつ休憩をとる。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
5/20	10:00～ 17:00	＜プログラミング教室＞ ロボブロックを使ったプログラミングで、人型ロボットに会話や、動きをつけてみた。子供たちが、身近なものにコンピュータが内蔵され、プログラミングの動きによって生活の便利さや豊かさがもたらされていることを理解し、そうしたプログラミングを自分の意図した活動に活用していけることを理解したうえで、プログラミング思考をつけていくことが狙いであった。講師の先生の未来のAIの話に子供たちは感動したようであった。最後には、自分の興味のあるもの（ゲームや本の紹介）のプログラミングでロボットに話をさせることができた。
7/29	13:00～ 17:00	＜プログラミング教室＞ ロボブロックを使ったプログラミングで、人型ロボットに会話や、動きをつけてみる。グループを作り、協力して物を作る力や様々な情報をもとに最善の考え方を導きだしながら、ロボットに話をさせたり、絵を表示させたりしていくことが狙いであった。 発表では、人間が問いかけた言葉により、答えをカウントしたり、返事をするようなプログラミングがあった。
9/29	10:00～ 17:00	＜地元のまち歩き教室＞ 松代には様々な歴史的建造物がある。戦国時代の武田信玄の戦いの場所や真田家ゆかりの城、幕末の思想家佐久間象山の家などを歩き、歴史に親しむことで、地域愛をはぐくむことが狙いであった。後半のプログラミング教室では観光案内プログラミングを試作した。
11/23	10:00～ 17:00	＜観光案内プログラミング＞ 本事業の集大成である講座で、まち歩きでまとめた観光案内を各々がプログラミングして、ディスカッションを行ったうえで、観光案内を完成させた。主体的な学びと、対話的な学び、協力して物を創造する力をはぐくむことが狙いであったが、子供らしい発想で観光案内を作り発表できた。

●活動の成果と課題

長野県松代という歴史のあるまちの中心で観光案内を作るというテーマを持ってプログラミングをしたことで、次世代を作る子供たちにまちづくりの一翼を担ってもらうことができました。学習支援を行っている児童養護施設の子供たちが定期的に参加してくれ、今まで行動に問題がありがちな子供が素直に勉強に取り組むようになったと感謝の言葉を頂きました。予定人数を下回ることなく参加者を集められ、観光案内プログラミングを完成することができ、目標は達成されました。

課題としては、使えるPCを増やし、より多くの参加者に体験してもらうことです。そのためには安定したネットワークの構築が課題となります。



作品発表1



作品発表2

●団体概要

【設立年月】 2012年4月

【URL】 <http://www.i-kasasagi.com/>

【設立の経緯】 2011年4月より東京児童相談所一時保護所でタブレットを使った学習支援を行っています。虐待を受けた子供たちが多くいる保護所ではICT学習支援が有効でした。その後一時保護所での活動では期間が制限されるため、児童養護施設に活動の場所を移してNPO化し、東京や長野でICT学習支援を行いながら、子供虐待防止啓蒙活動をしています。

【目的】 虐待を受けて保護された子供たちが多くいる一時保護所や児童養護施設などでICTによる学習支援を行い、学習したいけれど学習する環境がない子供への支援をし、学力格差のない社会を目指しています。

【構成】 IT講師、WEBデザイナー、SEなど社会人はIT関係者が多く、子供たちへの学習指導は学生ボランティア（20名）が中心となって行っています。

忍者電車まつり！ 冬の陣

実施団体／特定非営利活動法人 岐阜県青年のつどい協議会

- 活動期間／11月24日（土） 日帰り1回
- 活動場所／揖斐駅、養老駅、大垣駅前商店街、大垣公園一带
- 募集地域／岐阜県大垣市及びその近隣市町
- 募集対象／小学生（1～6年生）
- 募集方法／・チラシ（配布先：募集地域の小学校経由で児童に配布）
・ポスター（掲示先：養老鉄道各駅、公共施設） ・その他（ホームページ）
- 構成員数／12人
- 連絡先／〒500-8384 岐阜県岐阜市数田南5-14-12 シンクタンク庁舎内
TEL 058-273-4946 FAX 058-273-4946 kentudoim@marble.ocn.ne.jp



導入（影忍者集合）



指令書ゲット



まちなかでの暗号看板確認



学生忍者修行

●活動のねらいとポイント

矢文（指令）を見て行動する等、忍者の疑似体験をすることにより、子供たちの空想力や想像力を引き出します。

具体的なプログラム名	主なポイント
お店の道場主を探す修行	グループの仲間と相談しながら商店街のお店を探し訪ねて、お店の大人の方と交流する。
大垣城でちゃんばら合戦	子供同士の対戦・子供対大人の対戦により、子供も大人も同じレベルの目線に立った心のふれあいを目指す。

●参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】事前に現地確認を行い、危険箇所等を把握し、適切な対応を行う。

【健康管理】グループ指導者が参加者の健康状態について把握する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
11/24	7:40~ 8:10	養老駅・揖斐駅に子供忍者（参加児童）が集合、開会式
	8:10~ 10:00	集合場所での修行 ①仲間集め修行…グループとなる仲間を見つける。 ②チームの結束を固める修行…グループ単位でレクリエーションを行い、結束力を固める。 東軍は養老鉄道揖斐駅から第1の関所である大垣駅を目指す。 西軍は養老鉄道養老駅から第1の関所である大垣駅を目指す。 電車内で以下の修行を行う。 ③暗号探し修行…移動する道中にある暗号文を探し出す。 ④影忍者を探す修行…指定エリア内にいる人物から特徴等をもとに影忍者を探す。
	10:00~ 11:30	第1の関所 大垣駅 電車内で探した影忍者に合言葉を伝える。正解なら関所を越えられる。 ⑤道場主さがし修行…ヒントをもとに商店街のお店の中から道場主を探し出し、合い言葉をかわす。 第2の関所 大垣城 道場主からもらった証を見せることで、関所を越えられる。
	11:30~ 12:00	⑥合言葉確認修行…導入で説明した合言葉を確認する修行。
	12:00~ 12:30	昼食
	12:30~ 13:40	⑦学生忍者修行…大学生のスタッフが指導者となり、レクリエーションを行う。 ⑧巻物探し修行…会場内に配布した巻物に似せた筒を拾い、東軍西軍で数を競う。
	13:40~ 14:10	⑨忍者マジックショー修行…中村龍平氏による忍者マジックショーを行う。
	14:10~ 14:50	大垣城でちゃんばら合戦…東軍子供忍者×大人忍者、西軍子供忍者×大人忍者、子供忍者対大人忍者によるちゃんばらごっこ
	14:50~ 15:30	忍者認定証（修了証）を参加児童に授与、閉会式、解散

●活動の成果と課題

今回の事業では、揖斐、養老の各会場の導入で、今まで実行委員のみで行っていた影忍者についても大学生に入っていました。

メイン会場集合後、レクリエーション研究会によるレクリエーション修行では、オリジナルレクリエーションを子供たちが楽しんでいたのが印象的でした。マジックショー修行では、本物のマジックを忍法として披露いただきましたが、子供たちが食い入るように見ていました。メイン事業であるチャンバラ合戦では子供たちも大人も本気でチャンバラ合戦を行うことができ、全員の笑顔を見ることができたのではないかと思います。

準備期間が短く、参加者募集とボランティア募集、当日準備を同時進行で進めることとなりました。

子供たちが参加しやすい時期、今までの伝統、通例となった事業内容を見直すことも必要であると感じました。



東西巻物探し修行



チャンバラ合戦

●団体概要

【設立年月】 1999年5月

【URL】 <http://kentsudoi.web.fc2.com/>

【設立の経緯】 昭和42年に発足した岐阜県各種青年団体連絡協議会が発展的解消の後、「岐阜はひとつ 青年の心はひとつ」の基本理念のもと平成6年4月に「岐阜県青年のつどい協議会」が発足しました。その後、NPO法の施行に伴い平成11年1月23日に「特定非営利活動法人 岐阜県青年のつどい協議会」として、任意団体から法人格を持つ団体へと生まれ変わりました。

【目的】 団体相互のネットワーク化などにより、岐阜県内地域の青年に対して、「岐阜はひとつ 青年の心はひとつ」の基本理念のもと、お互いに励まし合い、競い合い、自己を高め、共に成長して広くまちづくりに貢献することを目的とします。

【構成】 7団体（休会中8団体）、個人会員5名

僕らのまちのハロウィンパーティ2018

実施団体／特定非営利活動法人 子育て応援 NPO フレンズ

- 活動期間／11月4日（日） 日帰り1回
- 活動場所／観音寺市民会館（ハイスタッフホール）及び近隣商店街
- 募集地域／観音寺市、三豊市、四国中央市、善通寺市、丸亀市等
- 募集対象／未就学児（1～5歳）、小学生（1～6年生）、中学生、高校生、一般成人、保護者
- 募集方法／・チラシ（配布先：幼稚園、小学校、商店街協力店舗、子育て支援関連機関）
・ポスター（掲示先：観音寺市内商店街、公共施設）
- 構成員数／10人
- 連絡先／TEL 0875-24-8690 npo_friends@yahoo.co.jp



コスチューム作りワークショップ



楽器にふれあおう！ワークショップ

●活動のねらいとポイント

様々な地域の子供たちが異年齢交流を図る機会とし、ハロウィンという欧米特有の文化を商店街の大人たちとも関わりながら体験して、異文化を理解することを目的としました。普段の生活にはない異文化を体験することで、多様な価値観を体感して欲しいと考えました。

具体的なプログラム名	主なポイント
衣装作り&楽器体験 ワークショップ	中学生、高校生ボランティアにも協力してもらい、講師の指導の下、自分たちのコスチュームを作ったり、世界の珍しい楽器にふれる。
ハロウィン・ミニ・コンサート	生演奏での音楽を、ハロウィンというテーマで子供たちも楽しめるバラエティある内容で体験する（ふれあい遊びも含む）。
トリック・オア・トリート	商店街店主にボランティアスタッフとして協力いただき、多数の参加者の通学路である商店街でスタンプラリーを実施し地域の大人と交流する。

●参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】 イベント当日は市民会館だけでなく商店街の広いエリアが会場となるため、大人のスタッフにも協力してもらい車の通行の邪魔にならないよう交通誘導を行う。またスタンプラリー会場となる店舗の方々にもご協力いただき、列を作る場所など道路にはみださないよう工夫する。

【健康管理】 参加者には各自水筒を持参してもらい、水分補給を促す。プログラムごとに参加者の健康状態に異変がないかチェックする。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
11/4	13:00~	衣装作りワークショップ（ハロウィンコスチューム全6種） 楽器体験ワークショップ（世界の珍しい楽器をさわってみよう！）
	14:00~	ハロウィン・ミニ・コンサート（腹話術、生演奏、親子ふれあいあそび）
	14:45~	集合写真撮影
	15:00~	トリック・オア・トリート 自作または自身で用意してきたハロウィンコスチュームを着た参加者が、商店街の協力店をスタンプラリー形式で回り、お店の店主の方々と「トリック・オア・トリート」をきっかけに話をして、顔の見える関係作りをする。
	18:00~	全協力店にてトリック・オア・トリート・スタンプラリー終了

●活動の成果と課題

天候にも恵まれ、屋内イベント（ワークショップ&コンサート）にも100名、屋外イベント（トリック・オア・トリート）については500人を超える参加者が足を運んでくれました。協力いただいた商店街エリアの店主の方々や地域住民の方々からも、かわいい子供たちとのふれあいの企画をととても喜んでいただき、普段通学路として通り過ぎるだけのお店から、「トリック・オア・トリートの時のお店!」「あのおばちゃん!」という関係性ができ、地域の交流のきっかけ作りができました。目的は十分達成できたと考えられます。また、屋外イベントでは、道路を渡る際の危険に配慮し、当初予定したより多くのスタッフを配置したことで、安心してイベントを行えたと地域の方からも高く評価いただきました。

ご家庭の都合や体調不良などにより足りなくなったワークショップ担当講師をボランティアの学生などで補いましたが、講師の確保と会場の確保は日程的にとても難しく次年度以降の課題となりました。



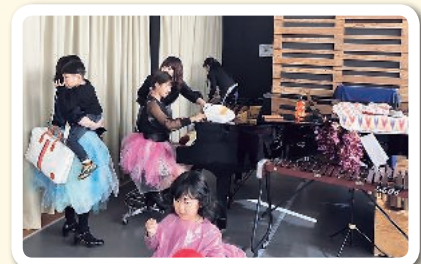
コスチュームに合わせてネイルをしてもらう子供たち



作ったコスチュームを着た参加者とスタッフ



商店街でトリック・オア・トリートをしている様子



コンサート準備の様子

●団体概要

【設立年月】 2010年5月14日

【URL】 <http://friends-sunnyhouse.wixsite.com/npo-friends/>

【設立の経緯】 自分自身の子育てにおいて課題と感じたことについて、自分たちでできることから解決していきたいと任意団体で活動を始めました。その中で継続してサービスを提供できる仕組みを模索した結果、親子カフェを財源とした自主運営できる組織として法人化しました。

【目的】 地域で子育てをすることがもっと楽しめる環境作りと子供たちが夢を持てる関わりと社会づくり

【構成】 理事長 片野牧 事務局長 合田千佳子
他理事、監事、及び社員 8名

eco スクール in ASO 実施団体／阿蘇市地域婦人会

- 活動期間／7月26日（木）～8月24日（金） 日帰り5回
- 活動場所／小学校、公民館、老人施設
- 募集地域／阿蘇市
- 募集対象／小学生（1～6年生）
- 募集方法／・チラシ（配布先：阿蘇市内小学校） ・ポスター（掲示先：小学校、老人施設）
- 構成員数／11人
- 連絡先／熊本県阿蘇市一の宮町宮地4365-1



熱心に作品作り



eco スクール in ASO 全員集合



非常用ご飯作り



出来上がり作品 花盛り

●活動のねらいとポイント

子供たちに身近な環境活動を体験してもらうことにより、環境に対する規範意識を高めるとともに、子供の健全育成を図ります。作成した作品を老人ホーム等に持っていき、異世代間交流を行うことで、思いやりの心や豊かな人間性・社会性を育み、地域の人々とのつながりを深めることを目指します。

具体的なプログラム名	主なポイント
エコクラフト	身近にあるトイレットペーパーの芯で花を作る。芯を力を入れ押しつぶし1cm間隔にずれないように線を引いて切り、花びら20枚の材料を作りペイントして乾燥させる。その後組み合わせて一つの花に仕上げる。一つの花に1時間半から2時間を要する。最後まで作品を作ることで忍耐力を養い、環境に配慮する心を育む。
異世代間交流	老人ホームを訪問し、作品と一緒に見てもらったり、作ったりすることで、高齢者の方々との交流を図り、心豊かな人間性・社会性を育む。
非常用ご飯作り (ハイゼックス米)	電気を使用せず非常用米炊き出し体験を行うことによって、災害時の生き抜く力・他者と協力する力を育む。

●参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】事前に下見を行い、危険箇所をチェックした上で安全対策を講ずる。クラフトでペイントを使用する際は目に入らないように注意し手袋を着用する。炊き出し体験では火傷に注意する。

【健康管理】活動前に健康チェック、緊急時に備え近隣の病院を把握、サポートカーを1台準備する。水分補給やアルコール消毒を実施する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
7/26 7/27 8/6	13:00	はじまりの挨拶・自己紹介
	13:15	エコクラフト 家にあるトイレットペーパーの芯を持ってきてもらい、みんなでオブジェをつくる。
	15:00	炊き出し体験 非常用米（ハイゼックス米）炊き出し体験
	16:00	終わりの挨拶
8/22 8/24	14:00	各学校に集合 婦人会員引率の下歩いて老人ホームへ移動 はじまりの挨拶
	14:15	異世代間交流 ・高齢者の方々に自分の作った作品をプレゼントする。 ・高齢者と一緒にゲームを行う。 終わりの挨拶
	15:15	学校にて解散

●活動の成果と課題

水害・地震・火山爆発と災害の多い阿蘇では、地域住民との交流や防災意識を持つことが必要です。子供たちに泥水であってもご飯が炊ける「ハイゼックス米」作りを体験してもらい、今後この体験が何らかの災害時に活かせると確信しました。

エコクラフトでは完成させる忍耐力を養い、クラフト作品を老人施設に持参、作り方を説明しプレゼントしました。異世代間交流で思いやりの心や豊かな人間性、社会性を育み地域との繋がりを深めることが出来ました。

課題としては、多くの子供に体験活動の参加を促すには、夏休み期間で実施の場合、学校行事との調整が必要だと切に感じました。



老人ホームの皆さんと風船ゲーム



老人ホームで自己紹介



活動終わりみんなで



握手でお別れの挨拶

●団体概要

【設立年月】 2005年（平成17年）

【設立の経緯】 2005年（平成17年）町村合併（一の宮町・阿蘇町・波野）三町村合併と同時に設立

【目的】 全国地域婦人会連合会・熊本県地域婦人会連絡協議会に属し、人づくり、地域づくり、自分づくりに励んでいます。会員は日赤奉仕団にも自動的に属し、災害時に炊き出し奉仕等を行っています。

【構成】 一の宮町会員98名・阿蘇町会員55名・波野26名 計179名

地産地消！ 実際の生産から販売まで！ 職業体験から自分の未来を考える 実施団体／特定非営利活動法人 ジーネット

- 活動期間／4月29日（日）～9月2日（日） 日帰り6回
- 活動場所／印西市公民館、永治郷土園、とりのごん助、有限会社ライト・ライズ
- 募集地域／印西市、白井市、鎌ヶ谷市、松戸市、柏市
- 募集対象／小学生（1～6年生）、高校生、保護者
- 募集方法／チラシ（配布先：新聞折り込み（印西市 白井市 松戸市 鎌ヶ谷市 柏市））
- 構成員数／9人
- 連絡先／090-4822-9176



食物の収穫体験



昼食試食会の様子

●活動のねらいとポイント

「働く」＝「我慢」ではなく「働く」＝「幸せ」という概念を子供たちに感じてもらうことと、自分の将来に期待を持てる子供たちを育てることがねらいです。

具体的なプログラム名	主なポイント
種植えから収穫まで	地元の名産のネギの種植えから収穫までを体験する。ただ収穫するだけではなく農家さんのこだわりや日々の楽しみを講義形式で聞いてから作業に取り組むことで、より熱意をもって作業できる。体験を2日間に分けることで収穫の喜びをよりリアルに感じてもらう。
職業について考える	就職支援や講演会をやっている講師の方をお呼びして「働くとは？」ということなのかを講義してもらい、参加者は自分の将来について考える。講師の方がお世話になった会社の方も一緒に参加して交流してもらうことで、より将来や働くことに希望を持つことができる。
実際に販売をしてみよう！	実際のお店をお借りして食品衛生責任者の指導の下製造から販売までを体験する。農業体験時や発表時にもらった疑似紙幣を使って、再度飲食物や景品を買うことができ、働く喜びを感じてもらう。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】 ・指導員との入念な打ち合わせを行う。 ・農園への事前下見を行う。
・食中毒やウイルスに対しての安全講習を徹底する。 ・食品衛生責任者の構成員が監視役兼保護役とする。
- 【健康管理】 ・野外ではこまめな水分補給を徹底する。 ・事前の体調チェックで嘔吐や吐き気発熱等がある場合は参加させない。
・事前の検便提出を行い体調を管理する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
4/29	9:00	受付開始 印西市公民館集合
	9:30	講義開始「印西市の名産ネギについて」
	10:00	実食 こだわりのネギを実際に食べてみる。
	11:00	種植え作業開始 土づくりから種植まで
	14:00	片付け・手洗い
	14:30	完全撤収
5/13	9:00	受付開始 白井市有限会社ライト・ライズミー ティングルーム
	9:30	講義開始 ①「働くとはなにか？」働くこととはどういうことなのかについて学ぶ。
	11:30	昼食会兼交流会① 実際の社会人の方と昼食を踏まえて交流する。社会人とグループになり自分の職業について話をしてもらう。
	13:00	発表会① 当日感じたことを発表する。
	14:00	総評・解散式
	14:30	完全撤収
6/10	9:00	受付開始 白井市有限会社ライト・ライズミー ティングルーム
	9:30	講義開始 ②「働くとはなにか？」実際に働いている人は何が楽しいのか？ 自分が働いてみたい職業について調べてみる。 →講師の方に持参してもらう職業の資料から調べる。その職業と幸せを考える。
	12:00	昼食会兼交流会② 社会人に仕事について聞いてみる。
	14:00	発表会② 夢と幸せについて発表する。
	15:00	完全撤収
	15:30	完全撤収
7/22	9:00	受付開始 印西市永治郷土園
	9:30	講義開始 ③収穫に際しての注意点や実際の生育過程をスライドショーで見る。
	10:30	収穫開始
	12:00	昼食兼農家さんとの交流 実際に収穫をしてどうか。今回のネギの出来栄などについて交流する。
	14:30	手洗い・完全撤収
	15:00	完全撤収
8/26	9:00	受付開始 とりのごん助 印西牧の原店
	9:30	講義開始 ④「料理をするとは？」「販売するとは？」安全講習を行う。
	10:30	グループ分け（参加者をA・Bの2グループに分ける。）
	10:45	グループで何を調理し販売するかを考える。
	11:30	調理・試食 実際に作ったものが美味しいか等を考えながら試食する。
	13:00	アドバイス・総評 食品衛生責任者より次回の販売についてアドバイスをいただく。
	14:30	完全撤収
	15:00	完全撤収

月/日	時間帯	プログラム内容
9/2	9:00	受付開始 とりのごん助 印西牧の原店
	9:30	講義開始 ⑤「安心・安全なものを届ける」
	10:30	Aグループの販売開始 Bグループは4組に分かれてお客さん役→支払いは自分の働いたお金
	12:30	Bグループの販売開始 Aグループは4組に分かれてお客さん役→支払いは自分の働いたお金
	14:30	総評と優秀作品・スタッフ発表
	15:00	景品交換・疑似紙幣の回収
	15:30	完全撤収

●活動の成果と課題

今回の活動では子供たちの「働く」をテーマに活動しました。子供たちはイメージの中で職業を決めていることが新たに分かり、現在の就職への偏りを生んでいるのだなあと改めて再認識しました。人気職業は人気なのはもちろんですが、近年の子供たちの職業選択の傾向として「楽」が意見で多くあがっていました。「ラク」と「楽しい」の違いはなんなのか？ その職業に誇りを持って充実している社会人と触れ合う中で多くの経験や価値観を持ってもらえたと思います。今回の活動を通して、改めて働くとはなにか？ ということを自ら考え思考を深めることで、自分たちの将来が明るくなったという意見もありました。



働くとは何か？の講義風景



働くとは何か？ 感じたことを記載している



働くとは何か？ 講義中高生向け



働くとは何か？ 小学生向けに講義している

●団体概要

【設立年月】 2015年10月

【設立の経緯】 今の日本では、教育現場だけでは本来引き継いできた社会教育が足りないのではないかと考え、実際に仕事をするを通して社会教育をしていく組織を設立しました。

【目的】 意欲ある専門家、支援してくれる地域の人々とともに、非営利団体として「食育+α」をテーマに、食育及び農業体験など関わるプログラム及びイベント、人材育成、研究活動を行い、健康で豊かな街づくりの推進、そして未来を担う子供たちにとって、「想像」を「創造」するフィールドを提供し続けることで、地域社会の活性化に大きく寄与することを目的に活動しています。

【構成】 理事長以下役員4名

みんなでつくるインクルーシブ大運動会(みんなで大運動会)

実施団体／特定非営利活動法人 沖縄県自立生活センター・イルカ

- 活動期間／10月6日（土）～11月23日（金） 日帰り9回
- 活動場所／宜野湾勤労者体育センター、当センター事務所、伊佐第2児童公園
- 募集地域／宜野湾市及びその近隣
- 募集対象／未就学児（1～5歳）、小学生（1～6年生）、中学生、高校生、一般成人、保護者
- 募集方法／・チラシ（配布先：市内学校、特別支援学校等）
・ポスター（掲示先：市内学校、特別支援学校、商店等） ・その他（新聞、ラジオ等）
- 構成員数／4人
- 連絡先／〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1 TEL 098-890-4890 FAX 098-897-1877



10月6日（土）1回目の実行委員会



10月28日（日）4回目の実行委員会



11月17日（土）7回目の実行委員会

●活動のねらいとポイント

合理的配慮とは何か実際に考え体験し、身体で学ぶことができる運動会を障害のある子とない子が一緒に企画、運営することを通して、共生社会を目指します。

具体的なプログラム名	主なポイント
実行委員会（全8回）	地域の子供たち（小学校高学年～高校生までの障害のある子とない子を含む）20名程度を募り、8回程実行委員会を開催する。「合理的配慮」について体験的に学ぶ効果的なプログラムを実施したのち、地域の人たちを巻き込んだ運動会のプログラム、競技ルール作り等の準備を行う。その際障害当事者をサポート役に配置する。
みんなで大運動会	実行委員会が運営の中心となり、地域で運動会を実施。広報は地域で障害のあるなし、年齢、性別等を越えて広く声掛けする。競技例として大玉ころがし、組体操、綱引き、リレーなど従来の運動会競技をアレンジし、皆が楽しめるようにする。チーム戦とするがMVP等の個人賞を設ける等、盛り上がるようにする。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】事前に会場を下見したうえで、安全措置を講じつつ必要なスタッフを配置する。また、障害のある人についてもその特性に応じた適切な配慮を講じる。
- 【健康管理】熱中症にならない様に、室内においては温度、湿度管理、参加者等の水分補給に注意する。室外においては日陰を作り、休憩、こまめな水分補給の機会を設けることに留意。会議開始時には、各々の健康状態を確認する。また、多くの人が集まる際には、感染症の予防対策のためアルコール消毒等を準備する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
10/6		第1回実行委員会
	13:00~15:00	自己紹介、アイスブレイク（車いすサッカー）
	15:15~15:40	インクルーシブって何？ ・説明（普通学校と特別支援学校の違い） ・自分の通った小学校、中学校、高校に置き換えてみる（分離？統合？インクルーシブ？） ・みんな（インクルーシブ）で楽しめる運動会を企画、運営の確認
	15:40~16:10	合理的配慮って何？ ・説明、障害当事者によるロールプレイ、まとめ
10/20		第2回実行委員会
	13:00~13:15	自己紹介
	13:15~14:30	アイスブレイク
	14:40~16:00	グループワーク
	16:00~16:25	競技案発表
10/27		第3回実行委員会
	13:00~15:00	競技（案）発表、絞り込み
	15:15~16:00	開会式、閉会式の時間・内容を決める
	16:00~16:30	実行委員の役割決め
10/28		第4回実行委員会
	13:00~13:15	自己紹介（新たなメンバーが入ったため）
	13:15~15:00	前回の実行委員会の報告、確認
	15:05~16:00	競技決め（メイン競技を決める、6競技）
	16:00~16:30	各競技の担当振り分け
11/3		第5回実行委員会
	13:00~13:20	アイスブレイク（伝言自己紹介）
	13:20~15:00	競技内容の確認
	15:10~16:20	競技ルール決め（グループワーク）
	16:20~16:40	競技ルール発表
11/11		第6回実行委員会
	13:00~14:20	イントロクイズ選曲
	14:30~15:15	競技ルールの決定（じゃんけんサッカー）
	15:15~16:30	競技ルールの決定（障害物競争）
11/17		第7回実行委員会
	13:00~14:35	競争を試しにやってみる
	16:00~16:30	次回の実行委員会の内容を決める
11/18		第8回実行委員会
	13:00~15:00	A班（製作・買い出し）とB班（リハーサル・プログラム作り）に分かれて作業
	15:00~16:00	A班とB班数名で買い出しへ。残りのメンバーは製作続行
	16:00~17:00	B班、会場にてリハーサル
	17:00~18:00	当日のプログラム、係員決め、当日の流れ確認

月/日	時間帯	プログラム内容
11/23		みんなで大運動会
	10:00	受付開始
	10:30	開会式
	11:00	競技開始（ティーボール&輪投げ、玉入れ）
	12:30	昼食
	13:30	競技開始（イントロクイズ、じゃんけんサッカー、障害物競走）
	15:00	閉会式、表彰

●活動の成果と課題

〈活動の成果〉

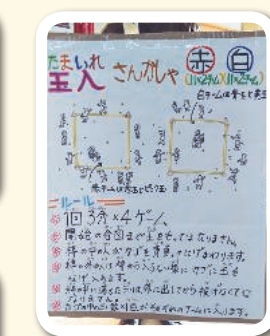
1. インクルーシブの理念の継承
地域の子供、障害当事者と共に企画、運営を行い運動会を作ることができた。
2. 地域社会のエンパワメント
後援や協賛の呼びかけを通して、企業・団体等たくさんの方々との関わりを持つことができた。
障害の有無に関わらず運動会を行い、競技を通して成長することができた。

〈課題〉

準備期間が短くて当日の役割分担や競技運営を詰め切れず、スタッフや実行委員が当日の動きに戸惑う場面も見られた。また、参加者、実行委員会に入る子供の多様性（様々な年代、性別、障害を持っている子供など）を広げていき、主体的な人権意識を持った人材を育成していくために当事者である障害を持った子供たちが参加しやすい環境作りを、さらに進める必要がある。



実行委員長として挨拶



誰もが楽しめる競技のルール

参加者みんなでパチリ！

●団体概要

【設立年月】 平成11年12月

【URL】 <https://okinawa-iruka.jimdo.com/>

【設立の経緯】 沖縄県自立生活センター・イルカは「重度の障害があっても、当たり前前に地域で暮らしていきたい」という障害当事者の願いを支えるべく、1999年に設立された沖縄県初の自立生活センターである。

【目的】 この法人は、沖縄において障害をもつ人々が地域社会で自立生活をおくるために必要なサービスを提供し、かつ生活上の様々な困難を克服していくための援助を目的とし、次のような活動を行う。保健、医療又は福祉の増進を図る活動、社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、人権の擁護又は平和の推進を図る活動、子供の健全育成を図る活動。

【構成】 障害当事者が過半数の理事会を中心に、理事長（代表と兼任）、事務局長、その他スタッフで構成されている。

神奈川県子ども会読み聞かせキャラバン

実施団体／一般社団法人 神奈川県子ども会連合会

- 活動期間／11月24日（土） 日帰り1回
- 活動場所／厚木シティプラザ サイエンスホール250（神奈川県厚木市）
- 募集地域／厚木市、秦野市、伊勢原市、海老名市、座間市、大和市、藤沢市 ほか県内全域
- 募集対象／未就学児（1～5歳）、小学生（1～6年生）、高校生、一般成人、保護者
- 募集方法／・チラシ（配布先：県内子ども会、青少年施設等）
・広報誌（かなこれん News） ・その他（団体ホームページ）
- 構成員数／41人
- 連絡先／一般社団法人神奈川県子ども会連合会 TEL 045-365-3424 kodomokai@aiores.ocn.ne.jp



紙芝居（読み聞かせ会）



読み聞かせ会の様子



子供たちとうた遊び（読み聞かせ会）



ペープサート劇（読み聞かせ会）

●活動のねらいとポイント

プロによる読み聞かせに触れてもらい、導入から読み聞かせまでの方法を楽しみながら学べる実践的な研修を行います。

具体的なプログラム名	主なポイント
子供への読み聞かせ	子供を対象とした読み聞かせに参加し、子供たちとの接し方や読み聞かせの方法と同時に子供たちの表情や反応を見て学ぶ。
読み聞かせ入門	読み聞かせの効果、技法についての講義。読み聞かせ会の導入に役立つうた遊び。役者が教える表現方法を用いた作品の読み合わせ。
ペープサート製作	簡単なペープサートを製作し、グループ毎にお話を作って発表する。

●参加者の安全対策・健康管理

【安全対策】施設内に危険箇所がないかどうか、非常時の避難経路等を確認する。

【健康管理】室内の寒暖に注意し、適宜換気を行う。インフルエンザ等の予防対策として手指消毒用のアルコールを準備する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
11/24	9:00	講師、スタッフ集合
	10:15	参加者受付開始
	10:30	開会式
	10:40	子供への読み聞かせ ・紙芝居 ・絵本 ・ペープサート劇 ・うた遊び ・素話
	12:00	読み聞かせ終了
	13:00	読み聞かせセミナー開始 ・読み聞かせ入門 ・うた遊び ・作品の読み合わせ ・ペープサート製作 ・ペープサート劇の発表 ・まとめ～読み聞かせから読書へ
	16:30	質疑応答、アンケート記入
	16:45	参加者解散

●活動の成果と課題

午前中は子供たちと一緒に読み聞かせ会を楽しみ、午後は読み聞かせのセミナーという形式で実施しました。役者の表現方法を用いた読み聞かせやうたのお兄さんによる子供たちとの接し方など、参加者の皆さん自身も楽しみながら読み聞かせの技術を学ぶことができたようです。今年度取り入れたペープサートは、実際に使ったり自分で作ったりしたことがあまりなかったようで、人形の製作、お話の創作など、グループで他の参加者の意見も聞きながら活動したことがとても楽しく参考になったと好評でした。

活動の目的はおおむね達成できたと考えていますが、今後限られた予算のなかでどのようにこの活動を続けていくかが課題となっています。



ペープサート劇のお話作り（セミナー）



ペープサート劇発表会（セミナー）



紙芝居の見せ方の指導（セミナー）



ペープサート製作の様子（セミナー）



作品の読み合わせ（セミナー）

●団体概要

【設立年月】 2009年12月

【URL】 <http://www.kodomo-kai.or.jp/kanagawa>

【設立の経緯】 1960年12月神奈川県子ども会連絡協議会として発足。2009年に一般社団法人神奈川県子ども会連合会として法人格を取得。神奈川県内28市町村の子ども会が加入しています。

【目的】 子供の夢、生きる力をはぐくみしなやかな子供を育てることをスローガンとし、子ども会活動を助成し、子供の健全育成に寄与することを目的とします。

【構成】 正会員28団体、会長以下役員11名、事務局職員2名。（40代～70代の育成者41名）

子どもゆめ基金で何ができるの？

- ・開発したいアプリや Web ページを作成して、広く社会に提供することができます。企画立案は応募団体で行っていただきますが、実際のプログラミング等は外部に委託することもできます。
- ・開発した教材を普及するための費用も、助成期間中は利用することができます。助成期間が終了した後は、応募団体の責任で行っていただきます。

助成事例

アンガーマネジメント～自分の気持ちを知る方法 「ようこそ！気持ちの広場へ」

特別支援教育デザイン研究会

<http://sn1.e-kokoro.ne.jp/kimochi/>

社会において感情のコントロールができないが故に様々な問題が発生しています。本教材では、「怒りの感情」に注目し、自分の感情に気づき、怒りの感情が外にも内にも暴走せず、上手にコントロールすることでより良い人間関係を築くことを目的に開発しました。



子供を取り巻く社会では、いじめ・暴力等の人間関係に関わる問題行動が増加しています。人間関係を築く為には、自分の感情や相手の感情を理解してコミュニケーションをとることが基本ですが、現代社会の中では多くの場合、感情をコントロールする方法を学ぶ機会を得ないまま成長してきています。そこで、いじめや犯罪、自殺などを未然に防ぐために「怒りの感情」を中心として、発達障がいの子供たちにもわかりやすい観点で教材を構築しました。

対象者は小学生から高校生の子供たちですが、感情を扱う教材であるため親や指導者等も共に学べる教材となっています。

自分の気持ちに意識を向けることで（自己理解）他者の気持ちを理解できるようになり（他者理解）、それによりお互いを理解すること（相互理解）につなげる構成となっています。表情絵やイラストを使って、身体感覚と感情をつなぐ言葉を言語化することで、感情コントロールや怒りの対処法なども学べます。

現在全国の都道府県・政令指定都市の教育委員会や障がい児施設など約2,000箇所に案内パンフレットを送付し、SNSなどでも告知しています。

注意すべきポイント

開発する教材に使う素材の著作権、教材の中で扱われる写真と関連する権利、さらに、子供たちの個人情報の扱いに留意が必要です。

下記の例を参考にしてください。

- ・素材の提供者（原著者）には、譲渡できない著作権者人格権があります。作成した教材を今後、団体の判断で修正するためには、その著作権者人格権を行使しないという契約をしておく必要があります。
- ・教材の中に写真がある場合、そこに写っている人の許諾を得ておく必要があります（肖像権等）。
- ・自由に投稿できるようなページでは、子供たちがいろいろな個人情報を書き込んでしまう可能性があります。第三者に悪用されない仕組みが必要です。

過去に開発された教材は下記 URL よりご覧になれます。

<https://yumekikin.niye.go.jp/link/index.html>

申請の主な流れ

ID申請

- ・電子申請システムを初めて利用される場合は、事前に ID の申請・発行手続きが必要です。子どもゆめ基金ホームページから電子申請システムに入り、ID 申請を行ってください。
- ・ID の発行は自動ではなく、職員が手作業で行っているため、土日祝日は発行できません。
- ・ID 申請の集中が予想される締切り間近は ID の発行に時間がかかりますので、余裕をもって申請してください。

電子申請 (企画書)

- ・申請した ID で電子申請システムにログインをし、必要事項を入力し申請を行ってください。
- ・**応募締切：2019年11月5日(火) 17時締切**

一次審査

- ・審査委員会による**一次審査（書面審査）**を行い、一次採否を決定します。
- ・採択・不採択の審査結果を【2019年12月中（予定）】に通知します。

電子申請 (申請書)

- ・**※一次審査で採択された場合のみ**
- ・申請した ID で電子申請システムにログインをし、必要事項を入力し申請を行ってください。

二次審査

- ・審査委員会による**二次審査（申請書による書面審査及びプレゼンテーション審査）**を行い、採否を決定します。
- ・採択・不採択の審査結果を【2020年4月上旬】に通知します。

交付決定

- ・採否結果をメールにてお知らせします（郵送による通知は行いません）。交付決定通知書または不採択通知書は、電子申請システムにて確認・ダウンロードしてください。
- ・申請額に対して決定額が減額となっている場合や交付条件が附されている場合がありますので、交付決定通知書の内容をよくご確認ください。

日中韓子ども童話交流事業

- 事業期間／平成30年8月17日（金）～8月23日（木） 6泊7日
- 実施場所／日本（東京都、山形県）
- 参加者／小学4年生～6年生 100名（日本34名、中国33名、韓国33名）
参加経験者 25名（日本10名、中国5名、韓国10名）
- 主催／（日本）日中韓子ども童話交流事業実行委員会
〈子どもの未来を考える議員連盟、国立青少年教育振興機構〉
- 共催／（中国）中国関心下一代工作委员会
（大韓民国）ソウル教育大学



「花」をテーマに作成した絵コンテをもとにストーリーを考え中



「花」のテーマに沿った絵本を作成

●事業の背景

日中韓子ども童話交流事業は、日本・中国・韓国の子供たちが一堂に会し、各国の絵本・童話を通じて読書の楽しみを知ってもらうとともに、相互理解と友情を深めることを目的として、平成14年の「日中韓国民交流年」を機に日本で開始しました。平成23年からは日中韓3か国による巡回開催となりました。

また、平成27年からは、過去に本事業に参加し、現在は大学生や社会人となっている参加経験者同士が交流する「参加経験者交流会」を開催しています。

●事業のねらい

本事業では、3か国の子供たちがグループになり、協力しながらオリジナルの絵本を創作することで、読書の楽しみを知り、互いの友情を深めることを目的としています。

●世界に一つだけの創作絵本

絵本づくりは平成30年度のテーマである「花（はな）」に関する物語を創作しました。喜怒哀楽を表現したカードを選び、そのカードから思いついた絵コンテにテーマである「花」と「自分」を含めて描きます。10人のグループメンバーが出し合った絵をもとにストーリーを相談しながら、世界に一つだけの絵本づくりに挑みました。

●事業の日程・プログラム内容

月/日	時間帯	プログラム内容
8/17	午後	オリエンテーション・グループタイム
8/18	午前	国立国会図書館国際子ども図書館見学
	午後	「日本・中国・韓国の昔話集」読み聞かせ、開会式
8/19	午前	山形県移動
	午後	浜田広介記念館見学、ヒマワリ畑見学
	夜	花笠踊りの見学と体験、将棋の谷川浩司九段の講演
8/20	終日	山形県天童市将棋資料館見学、書き駒体験、ぶどう刈り、紅花資料館見学、最上川三難所舟下り体験
8/21	終日	童話・絵本づくり、発表準備
	夜	かくし芸大会
8/22	午前	絵本づくり
	午後	蔵王（御釜）見学
	夜	夕食会、創作絵本発表会
8/23	午前	閉会式（参加経験者成果の全体発表を含む）



描いた絵本をつなぎ1冊の本が完成



出来上がった絵本の発表会

●参加者の声

- ① 日本人参加者
 - ・お互いに意見を出し合い、一度決まっただけの案が違う案にひっくり返る。その繰り返しで大変だったけど、楽しかった。
 - ・私たちが咲かせた友情の花を枯らすことなく、みんなの友情の力でずっと咲かせ続けましょう。
 - ・これからもずっとつながりを持ちたい。それは自分の誇りになる。
- ② 中国人参加者
 - ・和気あいあいと作ることができて良かった。世界に一つの絵本で、有名作家の作品にも劣っていない。とてもハッピー。
 - ・それぞれの国の「おやすみなさい」を同時に言って寝る瞬間が幸せだった。
 - ・太陽に向かって伸びるヒマワリから、前を向いて取り組む姿勢の大切さを学んだ。
- ③ 韓国人参加者
 - ・かみ合わない部分は譲歩したけど、楽しかった。考えも文化も違う僕たちが一緒に絵本を作った。みんなと別れたくない。
 - ・似ているけれど少し違いがあることを日本で発見できてうれしかった。
 - ・もっと世界に目を向けたいと思うようになった。



1人ひとりが絵本を描き上げました

●日中韓子ども童話交流日本人参加経験者交流会

おおそ10年前に参加した参加経験者が、参加している子供たちとの交流や、参加経験者同士での協議を通して、持続的かつ主体的に参加経験者たちが交流していくための3か国交流の在り方を考えました。また、プログラムを通して、3カ国の友好を誓うすべての人達に向けてのメッセージ絵本を作成しました。

また、今年度は、日本人同窓会設立5周年を記念して、同窓会事務局が「同窓会ひろば」を企画しました。過去のイベント写真約3,000枚を貼り付けた花のモザイクアートや過去の絵本を展示し、来場者に友好や平和へのメッセージを書き込んでもらいました。

「体験の風をおこそう」運動[®]とは

近年、社会が豊かで便利になる中で、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少してきている状況を踏まえ、子供たちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く発信し、社会全体で体験活動を推進していくことを目的とした運動です。

「体験の風をおこそう推進月間」事業に参加しませんか。

体験の風をおこそう推進月間事業

体験の風をおこそう運動推進委員会（事務局：国立青少年教育振興機構）では、毎年10月を「体験の風をおこそう推進月間」と定め、事業統一日（令和元年度は10月26日（土））を中心に、全国各地で子供たちやその家族と一緒に体験できる機会と場の拡充及びその社会的気運の醸成に努めています。

そこで、全国の青少年団体等呼びかけ、10月に「体験の風をおこそう」運動に賛同して実施していただける事業を募集しています。登録は、「体験の風」HP（<http://taikennokaze.jp/download>）より、要項をご確認の上、HP内の専用webフォームからご登録いただくか、登録申込書に必要事項をご記入した後、月間登録先メール（taikennokaze-suishin@niye.go.jp）またはFAX（03-6407-7699）にてご提出ください。平成30年度は602団体に参加いただき、2,042事業の登録がありました。

是非、ご登録ください。

子ども体験遊びリンピック

体験の風をおこそう推進月間事業のうち、特に競技性のある体験活動を幼児、小学生、中学生、親子等を対象に実施する事業を「子ども体験遊びリンピック」として併せて実施しています。

※子ども体験遊びリンピックの事業を10月（推進月間）に実施する参加団体には、同委員会の松本零士委員長（漫画家）がデザインしたメダルと賞状をお送りします。



ガイドブック 「体験・遊びナビゲーター」



国立青少年教育振興機構では、自然の中での体験や遊びを紹介したガイドブック「体験・遊びナビゲーター」を作成しました。ホームページからダウンロードできます。

<http://www.niye.go.jp/taikenasobi/>

「チラシ・ポスター」「のぼり旗」をご活用ください。

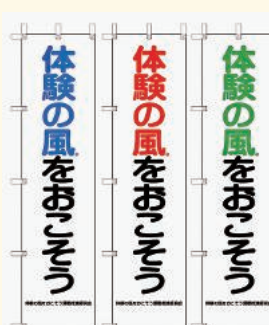
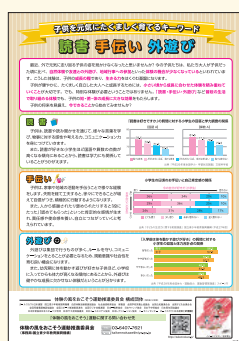
「体験の風をおこそう」運動の趣旨にご賛同いただける団体には、「チラシ・ポスター」「のぼり旗」を無料で配布しています。是非、事業での配布・掲示等にご活用ください。また、同運動のロゴマークも事業の開催案内に掲載する等ご活用いただいています。ご希望の場合は右ページ下部の「体験の風をおこそう運動推進委員会」までご連絡ください。

体験の風をおこそう

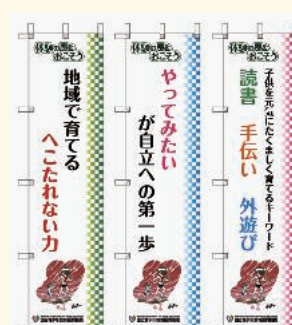
ロゴマーク



チラシ・ポスター



のぼり旗 ver.1



のぼり旗 ver.2

子供を元気にたくましく育てるキーワード

読書 手伝い 外遊び

最近、外で元気に走り回る子供の姿を見かけなくなっただと思いませんか？ 今の子供たちは、私たち大人が子供だった頃に比べ、**自然体験や友達との外遊び、地域行事への参加**といった**体験の機会が少なくなっている**といわれています。こうした体験は、子供の**成長の糧**であり、**生きる力**をはぐくむ基盤になります。

子供が健やかに、たくましく自立した大人へと成長するためには、**小さい頃から成長に合わせた体験を積み重ねていく**ことが大切です。でも、特別な体験が必要ということではありません。**「読書・手伝い・外遊び」**など**普段の生活で取り組める体験**でも、子供の**知・徳・体の成長に大きな効果**をもたらします。

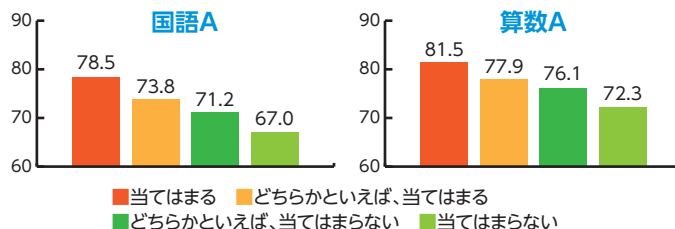
子供の将来を見据え、**今できることから始めてみませんか？**

読書

子供は、読書や読み聞かせを通じて、様々な言葉を学び、物事に対する感性や考える力、コミュニケーション力を身につけていきます。

また、読書が好きな小学生ほど国語や算数の点数が高くなる傾向にあることから、読書は学力にも関係していることがうかがえます。

「読書は好きですか」の質問に対する小学生の回答と学力調査の関係



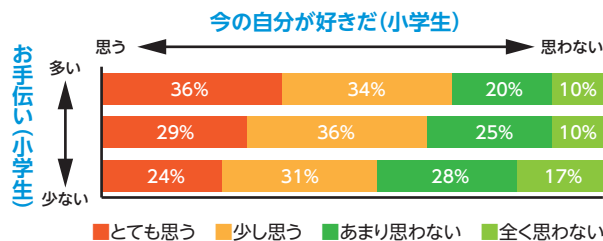
出典「平成29年度全国学力・学習状況調査」文部科学省

手伝い

子供は、家事や地域の活動を手伝うことで様々な経験をします。失敗を経て工夫すると、徐々にできるようになって自信がつき、積極的に行動するようになります。

また、人から感謝されたり褒められたりすると「役にたった」「認めてもらった」といった肯定的な感情が生まれ、責任感や使命感を養い、自立につながっていくと考えられています。

小学生の日頃のお手伝いと自己肯定感の関係



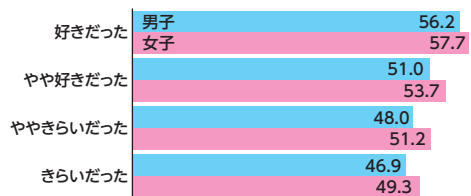
出典「子どもの生活力に関する実態調査」国立青少年教育振興機構(平成27年度)

外遊び

外遊びは集団で行うものが多く、ルールを守り、コミュニケーションをとることが必要となるため、規範意識や社会性を育む良い機会になります。

また、幼児期に体を動かす遊びが好きな子供ほど、小学校に入ってから体力が高くなる傾向にあることから、外遊びは健やかな成長に欠かせない体験だということが分かります。

「入学前は体を動かす遊びが好き」の質問に対する小学生の回答と体力合計点の関係



出典「平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」スポーツ庁

体験の風をおこそう運動推進委員会 構成団体 (敬称略50音順)

ガールスカウト日本連盟 国立青少年教育振興機構 自然体験活動推進協議会 社会通信教育協会 修養団 全国学校栄養士協議会 全国公民館連合会
 全国子ども会連合会 全国児童養護施設協議会 全国スポーツ推進委員連合 全国ラジオ体操連盟 日本一輪車協会 日本キャンプ協会 日本子守唄協会
 日本青年団協議会 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団 日本PTA全国協議会 日本ユースホステル協会 日本レクリエーション協会 ハーモニセンター
 ボーイスカウト日本連盟 [21団体]

「体験の風をおこそう」運動に関する問い合わせ先

体験の風をおこそう運動推進委員会

(事務局：国立青少年教育振興機構)

TEL 03-6407-7621 E-mail taikennokaze@niye.go.jp



<https://taikennokaze.jp/>



イメージイラスト：松本零士

申請・採択状況

(8月5日現在)

令和元年度 活動区分別申請・採択状況

活動分野	申請件数	採択件数	交付決定額 (単位：千円)
子どもの体験活動	5,042	3,957	1,429,406
子どもの読書活動	671	524	178,194
教材開発・普及活動	31	10	52,426
合 計	5,744	4,491	1,660,026

平成30年度 活動区分別申請・採択状況

活動分野	申請件数	採択件数	交付決定額 (単位：千円)
子どもの体験活動	5,774	3,976	1,373,932
子どもの読書活動	708	487	147,899
教材開発・普及活動	46	9	49,274
合 計	6,528	4,472	1,571,105

令和元年度 都道府県別申請・採択状況

(単位：件)

都道府県	活動区分	申請	採択
北海道	体験活動	251	214
	読書活動	37	29
青森県	体験活動	58	37
	読書活動	5	5
岩手県	体験活動	41	33
	読書活動	0	0
宮城県	体験活動	57	50
	読書活動	7	6
秋田県	体験活動	22	18
	読書活動	2	2
山形県	体験活動	33	27
	読書活動	2	0
福島県	体験活動	49	42
	読書活動	7	5
茨城県	体験活動	91	71
	読書活動	3	1
栃木県	体験活動	88	55
	読書活動	21	18
群馬県	体験活動	55	43
	読書活動	3	2
埼玉県	体験活動	182	156
	読書活動	22	18
千葉県	体験活動	259	211
	読書活動	18	15
東京都	体験活動	681	551
	読書活動	98	83
神奈川県	体験活動	237	179
	読書活動	28	20
新潟県	体験活動	87	68
	読書活動	8	6
富山県	体験活動	19	16
	読書活動	0	0

都道府県	活動区分	申請	採択
石川県	体験活動	54	39
	読書活動	4	4
福井県	体験活動	24	22
	読書活動	4	4
山梨県	体験活動	70	48
	読書活動	5	5
長野県	体験活動	84	59
	読書活動	7	6
岐阜県	体験活動	78	57
	読書活動	6	3
静岡県	体験活動	109	81
	読書活動	12	5
愛知県	体験活動	179	123
	読書活動	19	15
三重県	体験活動	60	55
	読書活動	0	0
滋賀県	体験活動	49	37
	読書活動	13	12
京都府	体験活動	121	100
	読書活動	20	16
大阪府	体験活動	389	286
	読書活動	79	53
兵庫県	体験活動	221	157
	読書活動	30	25
奈良県	体験活動	66	50
	読書活動	18	16
和歌山県	体験活動	55	45
	読書活動	15	11
鳥取県	体験活動	21	19
	読書活動	4	4
島根県	体験活動	23	18
	読書活動	4	4

都道府県	活動区分	申請	採択
岡山県	体験活動	101	78
	読書活動	5	4
広島県	体験活動	41	29
	読書活動	3	3
山口県	体験活動	40	35
	読書活動	7	7
徳島県	体験活動	60	51
	読書活動	9	6
香川県	体験活動	49	32
	読書活動	13	9
愛媛県	体験活動	98	83
	読書活動	8	8
高知県	体験活動	38	38
	読書活動	7	6
福岡県	体験活動	230	186
	読書活動	40	29
佐賀県	体験活動	23	21
	読書活動	19	17
長崎県	体験活動	35	32
	読書活動	5	3
熊本県	体験活動	56	37
	読書活動	15	14
大分県	体験活動	29	23
	読書活動	2	0
宮崎県	体験活動	75	64
	読書活動	6	5
鹿児島県	体験活動	316	249
	読書活動	31	20
沖縄県	体験活動	38	32
	読書活動	0	0
合 計	体験活動	5,042	3,957
	読書活動	671	524



子どもゆめ基金へのご協力を



子どもゆめ基金は、国と民間が協力して青少年教育に関する団体が行う子供の体験活動や読書活動などの振興を図り、子供の健全育成に寄与するものです。

このため、個人、企業からもご協力をいただき、基金の拡大を図り、幅広くその活動を支援することになっています。

下記の募金口座にて募金を受付しております。広く皆様のご理解とご支援を何卒お願い申し上げます。

なお、子どもゆめ基金に対するご寄附は、税制上の優遇措置を受けることができます。

振替口座

□座番号	00150-5-371382
□座名義	子どもゆめ基金

※振込に便利な振込払込書の中に綴じておりますので、ご利用ください。

銀行口座

銀行名	三菱 UFJ 銀行 渋谷支店
□座番号	普通預金 3025103
□座名義	子どもゆめ基金

子どもゆめ基金への支援

検索

「子どもゆめ基金」へご寄附いただいた皆様

平成30年度に「子どもゆめ基金」へご寄附いただいた主な方々です。

(あいうえお順・敬称略)

株式会社伊藤園	一般社団法人 Wilderness Education Association Japan
MCSK プラニックヒーリングスクール	特定非営利法人思いをつなぐ会
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	シンソー印刷株式会社
株式会社八洋	NPO 法人ホワイトベル
箕浦 真生	村井 悠治
ライフガード株式会社	

子どもゆめ基金ガイド2019

2019年8月発行

編集 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部

発行 独立行政法人国立青少年教育振興機構

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

電話 0120-579081 (フリーダイヤル)

URL <https://yumekikin.niye.go.jp/>

E-mail yume@niye.go.jp

全国の国立青少年教育施設のご案内

国立青少年交流の家

- 1 国立大雪青少年交流の家 (北海道美瑛町)
- 2 国立岩手山青少年交流の家 (岩手県滝沢市)
- 3 国立磐梯青少年交流の家 (福島県猪苗代町)
- 4 国立赤城青少年交流の家 (群馬県前橋市)
- 5 国立能登青少年交流の家 (石川県羽咋市)
- 6 国立乗鞍青少年交流の家 (岐阜県高山市)
- 7 国立中央青少年交流の家 (静岡県御殿場市)
- 8 国立淡路青少年交流の家 (兵庫県南あわじ市)
- 9 国立三瓶青少年交流の家 (島根県大田市)
- 10 国立江田島青少年交流の家 (広島県江田島市)
- 11 国立大洲青少年交流の家 (愛媛県大洲市)
- 12 国立阿蘇青少年交流の家 (熊本県阿蘇市)
- 13 国立沖縄青少年交流の家 (沖縄県渡嘉敷村)

宿泊体験学習に!

スポーツ合宿に!

研修に!

講演会に!

ミーティングに!

青少年の体験活動をサポートする
国立青少年教育施設が全国に28か所

国立青少年自然の家

- 1 国立日高青少年自然の家 (北海道日高町)
- 2 国立花山青少年自然の家 (宮城県栗原市)
- 3 国立那須甲子青少年自然の家 (福島県西郷村)
- 4 国立信州高遠青少年自然の家 (長野県伊那市)
- 5 国立妙高青少年自然の家 (新潟県妙高市)
- 6 国立立山青少年自然の家 (富山県立山町)
- 7 国立若狭湾青少年自然の家 (福井県小浜市)
- 8 国立曾爾青少年自然の家 (奈良県曽爾村)
- 9 国立吉備青少年自然の家 (岡山県吉備中央町)
- 10 国立山口徳地青少年自然の家 (山口県山口市)
- 11 国立室戸青少年自然の家 (高知県室戸市)
- 12 国立夜須高原青少年自然の家 (福岡県筑前町)
- 13 国立諫早青少年自然の家 (長崎県諫早市)
- 14 国立大隅青少年自然の家 (鹿児島県鹿屋市)



国立オリンピック記念
青少年総合センター
(東京都渋谷区)

子どもゆめ基金についてのお問い合わせ

TEL : 0120-579081 E-mail : yume@niye.go.jp URL : <https://yumekikin.niye.go.jp/>



National Institution For Youth Education

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL 03-3467-7201 (代表) URL <http://www.niye.go.jp>